

お子さんの歯が気になる親御さんに
わかりやすく伝えられる本ができました



写真でわかる子どもの矯正治療ガイド

お子さんの口の中、こうなっていませんか？

石川 基 著

AB判/56頁 定価3,960円(本体3,600円+税10%)
医歯薬出版 (2020年9月)

スウェーデンデンタルセンター
(東京都千代田区)

評・加藤 典 (歯科衛生士)



ヨーロッパの矯正専門医の資格をもつ著者の石川 基先生は、実家の歯科医院を継いだとき、子どもの先天性欠損や叢生をどのように扱えばいいかわからず、「経過観察」で逃げておられたそうです。そんな状況を打開したいと思ったことが、スウェーデンに留学するモチベーションの1つとお聞きしました。この本は、スウェーデンで行われている「本当に必要な矯正治療」を届けることを目的に、一般の方向けに書かれています。歯並びや生え変わりでは、何に気をつけチェックするのか、どのような治療が必要かをわかりやすく説明しており、歯科医師や歯科衛生士にとっても役に立つ本だと思います。

表紙は絵本のようにやさしいデザインで、本文では子どもにも理解しやすい言葉を使ってい

ます。

本を開くと“なぜ子どものころから矯正が必要か？”という問いかけから始まり、矯正治療の目的が書かれています。次に、読者がもっとも知りたいであろう年齢別症状のポイントが「子どもの年齢別チェックリスト」ですぐにわかるようになっていきます。「お子さんの口の中、気になるところはどこですか？」では、Yes/Noチャートで自分が見たいページをすぐに見つけることができます。

「矯正治療に使う装置の種類」も写真で見やすく解説されており、つづいて症例別に写真とその症状が「経過観察」「治療を検討」「要治療」に色分けされています。また、治療をするか迷われている患者さんへ「治療を考える際の注意点」や、指しゃぶりや唇をかむなど日常生活での「気をつけたい習慣」へのメッセージもあり、患者中心主義のスウェーデンで学ばれた石川先生ならではの感じさせます。後半の5症例では、治療前、治療中、治療後の経過を写真で解説し、症例に合わせて歯科医師への受診が必要かどうか家庭でのチェックポイントが解説されています。

当院の患者さんもお自身のことよりも、子どもやお孫さんの歯を心配される方がおられます。「歯は大事だから自分のように困ってほしくない」という思いはあっても、その子どもや孫の歯の状態はもちろんのこと、その年代における歯の特徴に関する知識が足りていません。この本をクリニックに置き、患者さんに見せながらガイドブックとして説明することでわかりやすく伝えることもできます。

ちょうど本を読んでいるところへ、研修医の歯科医師が覗き込みながら「矯正の授業が一番わかりにくかったなー」と一言。自分も含めた“矯正に関する基本的な知識”を欲している人たちにとっても、うれしい本になると思います。